

# 令和5年度事業報告書

自：令和05年04月01日

至：令和06年03月31日

社会福祉法人守人会

## 令和5年度事業報告書目次

名称	頁
法人事業報告	01
定款で定める社会福祉事業	01
評議員選任・解任委員会開催状況	01
評議員会開催状況	02
理事会開催状況	02
経営会議	03
Ⅰ 地域における公益的な取り組み	03
Ⅱ 補助金について	04
Ⅲ 新型コロナウイルス感染症クラスター発生と解除について	05
Ⅳ 施設以外で新型コロナウイルス感染症に感染した者	05
Ⅴ 資格取得支援制度	06
Ⅵ 職員の採用／退職状況(パート職員含む)	06
Ⅶ PC共有フォルダデータ削除行為に対する調査と対応策	06
新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証	07
埼玉県環境SDGs取組宣言	08
介護部門事業報告	09
看護・機能訓練事業報告	14
栄養事業報告	15
地域密着型通所介護事業報告	15
訪問介護事業報告	17
居宅介護支援事業所事業報告	20
在宅介護支援センター事業報告	23

## 令和5年度法人事業報告

本年度は、役員(理事・監事)の任期満了に伴う改選を実施し、令和7年6月に開催する定時評議員会までの役員を選出した。

令和5年度補助金として、埼玉県民間事業者 Co<sup>2</sup>排出削減設備導入補助金(緊急対策枠)により、ユニット型特養の空調設備(室外機 20 台・室内機 21 台)を入替えた。埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金(介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業に係る分)として、簡易陰圧装置を従来型特養 2 部屋、短期入所生活介護 1 部屋、ユニット型特養 2 部屋に導入した。前回導入と合わせ従来型特養は 3 部屋と静養室の 4 部屋、短期は 1 部屋、ユニット型特養は 4 部屋に簡易陰圧装置を設置することが出来ました。

また、令和5年9月15日付高福第 657-2 号で埼玉県新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証制度による優良施設として埼玉県知事から認証されました。

企業等の環境分野の SDGs (貧困、紛争、気候変動、感染症等)人類は、これまでになかったような数多くの課題に直面しており、このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなるとの危機感から、世界中の様々な立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030 年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標[Sustainable Development Goals : SDGs と略し]17 項目が示されており、私たちみんなが、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる道しるべのようなものです。)に係る取組を促進し、企業経営の持続可能性の向上や環境課題の解決を図る「埼玉県環境 SDGs 取組宣言企業制度」に令和5年8月25日から参画しております。

### 定款で定める社会福祉事業

種別	社会福祉事業等	事業所名
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営	特別養護老人ホーム森林園(ユニット型含)
第2種社会福祉事業	老人デイサービス事業の経営	森林園デイサービスセンター
	老人短期入所事業の経営	森林園短期入所施設
	老人居宅介護等事業の経営	ヘルパーステーション森林園
	老人介護支援センターの経営	在宅介護支援センター森林園
公益事業	居宅介護支援の事業	居宅介護支援事業所森林園

※定款で定める公益事業の「居宅介護支援の事業」については、事業規模が小さく社会福祉事業と一体的に行われる事業又は社会福祉事業の用に供する施設の機能を活用して行う事業となっているため、居宅介護支援事業所森林園については、社会福祉事業として取扱いしている。

### <令和5年度の役員・評議員など取組実績>

理事会は対面決議5回開催した。

評議員会は、定時評議員会を対面で1回実施した。評議員選任解任委員会は1回開催した。

### 評議員選任・解任委員会開催状況

定数：3名(外部委員1名・監事1名・事務局員1名)

開催年月日	審議事項等	出席者
令和5年 6月6日	審議事項 ・評議員の解任について ・補充評議員の選任について	3名

評議員会開催状況

評議員定数：7名

開催年月日	審議事項等	出席者	立会理事・監事
令和5年 6月22日	審議事項 ・令和4年度事業報告の報告と計算書類等(決算)・財産目録承認の承認について ・役員(理事・監事)の選任について	6名	理事1名 監事2名

理事会開催状況

理事定数：6名 監事定数：2名

開催年月日	審議事項	出席者	立会監事
令和5年 6月6日	審議事項 ・令和4年度事業報告承認の件 ・令和4年度計算書類(決算)承認の件 ・評議員退任による補充候補者推薦の件(決議は評議員選任解任委員会で実施) ・役員(理事・監事)任期満了による次期候補者推薦の件(決議は評議員会で実施) ・定時評議員会招集(開催日時)と議案の件 ・特定当座貸越融資(80,000千円)の再契約の件 ・賞与資金借入(18,000千円)の件	6名	2名
令和5年 6月22日	・理事長専任について	5名	2名
令和5年 9月20日	審議事項 ・令和5年度埼玉県民間事業者Co <sup>2</sup> 排出削減設備導入補助金(緊急対策)枠特別養護老人ホーム森林園(ユヱット)空調設備更新工事入札結果による落札業者承認の件 ・令和5年度第1次補正予算の件(補助金収入と固定資産取得支出) 報告事項 ・サーバー共有フォルダ削除(人的削除)について ・8/28従来型特養利用者コロナ陽性によるクラスター発生について ・埼玉県新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証制度による優良施設の認証について	6名	1名
令和5年 12月13日	審議事項 ・令和5年度中間決算承認の件 ・令和5年度第2次補正予算承認の件 ・12月支給賞与資金借入承認の件 ・委託給食会社契約更新承認の件 報告事項 ・令和4年7月18日納涼祭焼き鳥(つくね)窒息事故の示談交渉進捗について ・令和5年度埼玉県民間事業者Co <sup>2</sup> 排出削減設備導入補助金(緊急対策)	6名	1名

	梓特別養護老人ホーム森林園(ユニット)空調設備更新工事完了について ・簡易陰圧装置入札結果報告と納品完了について ・日本年金機構川越年金事務所健康保険及び厚生年金被保険者資格及び報酬等の調査について(令和5年12月12日)		
令和6年 3月19日	審議事項 ・令和5年度第3次補正予算承認の件 ・令和6年度事業計画承認の件 ・令和6年度収支予算承認の件 報告事項 ・評議員永眠により1名欠員について	6名	1名

### 経営会議

理事長(施設長)、職員理事、事務長、会計事務所で構成された会議で、法人運営の指針や月次決算、日常の様々な問題について方向性を決定し、実務処理を行いました。

開催年月日	審議事項	出席者
令和6年 1月29日	審議事項 ・令和5年度で創設認可された比企圏域特養(川島町)他について ・都内病院閉鎖に伴う特定技能介護職員(フィリピン国籍)の面接要請について	2名
令和6年 2月27日	審議事項 ・特定技能外国人採用について ・勤務表の統一について ・人事異動について	2名
令和6年 3月22日	審議事項 ・外国籍従業員に対する日本語支援について ・勤務表の統一について ・令和6年度介護報酬改正と基本サービス単価に含まれる経過措置(R6.3.31までは努力義務)切れの減算内容と対応について	2名

### I. 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人は、社会福祉法第24条第2項の規定により3つの要件全てを満たす事業(①社会福祉事業又は公益事業を行うにあたって提供される福祉サービスであること。②対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること。③無料又は低額な料金で提供されること。)を実施する必要があり、当法人は以下の事業を実施した。

#### 食品ロス支援活動(冷凍食品・規格外農産物、賞味期限が近い食品等の配布)

地域の生活困窮者支援として、生活保護受給者や成長期の児童がおり生活に困窮している世帯に、一般社団法人中央ライフ・サポートセンターの食品ロスを減らし社会貢献活動を推進する「新しい食品循環ネットワーク活動」として、冷凍食品・常温食品をお届けしました。

## II. 補助金について

各種の補助金申請を行い、令和5年度で21,276,300円の補助金が交付された。

- ① 両立支援等補助金(新型コロナウイルス感染症に関する母子健康管理措置措置による休暇支援コース)  
令和5年4月1日から令和5年9月30日までの時限補助金 200,000円(埼玉労働局)  
妊娠中の女性労働者が、保健指導・健康診査を受けた結果、その作業等における新型コロナウイルス感染書への感染のおそれに関する心理的なストレスが母体又は胎児の健康保持に影響があるとして、医師等から「休業」を含む指導を受けた場合に有給と同じ特別休暇(臨時休暇)を与えて、職場環境を整備した場合の支援補助金が交付された。(令和5年9月30日で終了)
- ② 埼玉県介護職員資格取得支援事業(実務者研修受講料)助成金 180,000円(埼玉県福祉部)  
令和5年度で介護職員実務者研修を修了し、県内事業所で介護職員として従事した者に受講料支援として、1名につき受講料の1/2の費用を支援する助成金で、4名分交付された。
- ③ 令和5年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業補助金 1,787,000円(埼玉県福祉部)  
利用者が新型コロナウイルス感染者に罹患して施設内療養することになり、施設内療養時の対応の手引きを参考に感染対策の徹底、療養の質及び体制の確保等を実施した場合にかかり増し費用及び同一日に5人以上施設内療養者がいる場合は追加上乗せとして補助金が交付された。
- ④ 外国人介護職員が長く働ける、魅力ある埼玉介護の促進補助金 1,678,000円(埼玉県福祉部)  
埼玉県内の介護施設等に対し、介護福祉士資格取得を目指す外国人介護職員へ日本語学習支援(日本語講師による教育等)や教材の購入、日本語試験の受験料、外部研修や講習等への参加、介護福祉士国家試験対策の外部講師委託料、住居を借上げて外国人に提供している場合の共益費を含む住居費と通信環境費等について補助金が交付された。
- ⑤ 埼玉県高齢者施設等光熱費等高騰対策支援事業補助金 2,751,300円(埼玉県福祉部)  
コロナ禍において、感染対策に係る経費が高むなか、高齢者施設等においても原油価格・物価高騰の影響による負担増がさらに経営を圧迫しており、事業者負担が継続することで、利用者等へのサービス低下や職員処遇への悪影響が懸念されることから、高齢者施設等の負担増を軽減し、当面のサービス維持を支援することを目的とし、各事業別で埼玉県の予算の範囲内において補助金が2回交付された。
- ⑥ 埼玉県民間事業者 Co<sup>2</sup>排出削減設備導入補助金(緊急対策枠) 5,000,000円(埼玉県環境部)  
地球温暖化対策を推進するに当たり、省エネルギー化を推進し、Co<sup>2</sup>排出量の削減に費する設備導入について、使用年数が15年以上の空調設備機器の入替え更新の費用の一部を県が補助し、自律的な省エネルギー、温室効果ガスの排出量削減を支援する目的で補助金が交付された。
- ⑦ 埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金(介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業に係る分) 9,680,000円(埼玉県福祉部)  
介護施設等において、感染拡大のリスクを低減するためには、ウイルスが外に漏れないよう、気圧を低くした居室である陰圧室の設置が有効であることから、居室等に陰圧装置を据えるとともに簡易的なダクト工事・差圧計等を設置し、かつ新型コロナウイルス感染症対策は、簡易陰圧装置の整備のみでは十分ではなく、クラスターの発生など被害を防ぐための対策を施し、新型コロナウイルス感染症対策優良施設認証を受けた

施設に対し簡易陰圧装置設置に係る設備費用について補助金が交付された。

事業所	簡易陰圧装置名	台数	補助金額
従来型特養	日本無機(株)PFF-0141-PDH(排気ダクト工事付)	4台	3,685,000円
併設短期入所	日本無機(株)PFF-0141-PDH(排気ダクト工事付)	2台	1,815,000円
ユニット型特養	(株)日本医化器械製作所感染防止クリーンベッド NB-1200S	2台	4,180,000円

Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症クラスター発生と解除について(令和5年8月28日発生。9月13日解除)  
 感染経路不明で、8/28 従来型特養でご利用者1名が発熱し、PCR抗原検査で新型コロナウイルス感染が判明し、同室者や感染者の食事席に隣接するご利用者へ感染拡大し計14名が感染し、うち2名が入院治療した。最後に発生したご利用者から10日間経過観察し9/13医師により感染隔離体制が解除となった。また、感染した利用者を介護した職員2名が感染し労働者災害補償保険法を適用した。

従来型特養でのコロナ感染発生状況(発生日はPCR検査日や症状発症日で医師判断)

発生日	利用者	職員		備考
		業務上	業務外	
8/28	1			埼玉県・保健所へ報告
8/30	4			施設内クラスター発生を報告
8/31	3			
9/2	3			
9/3	2			
9/4	1			
9/5		1		介護職員感染(労災認定)
9/6		1		事務職員感染(労災認定)
合計	14名	2名	0名	

Ⅳ. 施設以外で新型コロナウイルス感染症に感染した者(家庭内感染等)

感染経路不明や家庭内で感染し、埼玉県配布のPCR抗原キットや事業所で購入したPCR抗原キット検査で新型コロナウイルス感染が判明した者

発生日	利用者	職員		備考
		雇用者	委託先	
4/26		1		従来型特養介護職員 家庭内感染
9/10			1	厨房委託会社調理員 家庭内感染
9/24		1		ユニット型特養介護職員 家庭内感染
10/8			1	厨房委託会社調理員 家庭内感染
12/13		1		訪問介護職員 感染経路不明
1/20		1		在宅介護支援センター職員 家庭内感染
1/23	1			短期入所利用者 家庭内感染
1/29		1		デイサービス介護職員 感染経路不明
1/31		1		相談員 感染経路不明
1/31	1			デイサービス利用者 家庭内感染
2/1	1			デイサービス利用者 家庭内感染
合計	3名	6名	2名	

## V. 資格取得支援制度

職員に対する資格取得支援制度として、下記の研修等に対する資格取得に対し支援を実施した。

実務経験をもって介護福祉士国家試験を受験する要件を満たすためには、介護事業所で実務経験3年(実労働日数540日以上)以上の勤務実績と介護職員実務者研修過程を修了しなければならないため、外国籍従業員を含め支援を充実させた。また、介護職種の技能実習生の入国が予想を上回るペースで増加しており、試験評価者が不足する状況になったため、講習参加資格のある職員(アセッサー研修終了者)を評価者養成講習へ参加させた。一般社団法人シルバーサービス振興会から委託され、他法人海外技能実習生の初級評価試験や上級評価試験の評価者として、試験担当官を行うとともに、試験評価者の知見は技能実習の指導や外国人介護職員等への教育等にも生かすことができ、技能実習制度の正しい理解にもつながり、技能実習生の健全な育成と日本の介護サービスの質の維持・向上につながると思われまます。令和5年度では、介護技能実習生の初級評価試験の評価者として、10法人10名の技能実習生の初級評価を実施した。

研修や資格支援名	令和5年度	令和4年度	令和3年度
介護職員初任者研修		1名	6名
介護職員実務者研修	4名	7名	
ユニットリーダー研修			
介護評価者(アセッサー)研修	1名	1名	
介護技能実習試験評価者講習		1名	
主任介護支援専門員研修	1名		1名
計	6名	10名	7名

## VI. 職員の採用／退職状況(パート職員含む)

令和5年度の採用者は1名で、退職者は6名であった。

入職者：1名 介護職員1名(介護福祉士1名)

退職者：6名 介護職員6名(介護福祉士4名、ヘルパー2級パート介護職員2名)

事業所別	特養・短期	ユニット型特養	デイサービス	計
入職者	1名			1名
退職者	4名	1名	1名	6名

## VII. PC共有フォルダデータ削除行為に対する調査と対応策

「共有フォルダ」とは、複数のパソコン端末からフォルダにアクセスできるように設定されたフォルダのことです。共有フォルダを設定することで、社員全員が社内文書や資料を見たりできるものです。そのため、一般的には従業員が遵守しなければならない社内の公開情報として、就業規則等や勤務表、連絡事項、会議録、各部署同時に作成する必要がある書類などに限定し使われるものです。このフォルダ内にある一部又は複数のフォルダが削除される下記事象が発生し、原因究明を委託会社へ調査依頼したところ、外部ウィルスによる削除行為ではなく、従業員による人的削除行為であることが判明しました。フォルダ内のデータは、災害対策を考慮し群馬県にある大型コンピューターサーバーで保存していたため復旧することが出来ましたが、いつ誰がどのパソコンで削除したということを追跡できるシステムを導入していなかったため、詳細事項までは判明できませんでした。そのため、各端末を監視しサーバーアクセス管理が出来るシステムを導入しこのような行為に対しては、業務の妨げになることや犯罪行為になることを全職員へ注意指導するとともに、パソコン端末操作状況については監視装置があることを周知徹底しました。

令和5年4月17日 就業規則・給与規程の他職員が閲覧し遵守しなくてはならないフォルダが削除

令和5年7月10日 栄養・居宅・訪問・在支・医務・事務等業務フォルダが削除



埼玉県認証 第 276 号

新型コロナウイルス感染症対策  
優良施設として認証します

埼玉県知事 大野 元裕

特別養護老人ホーム森林園 様



# 埼玉県環境SDGs取組宣言



社会福祉法人守人会は、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現のために、SDGsの取組を進めます。

令和5年8月25日

埼玉県は貴社の取組を応援します。



埼玉県



介護部門事業報告

1. 入居者の状況

- (1) 定員
- ① 特別養護老人ホーム（多床室） 定員 58名
  - ② 特別養護老人ホーム（ユニット）定員 30名
  - ③ ショートステイ 定員 12名

(2) 特養入所者の年齢別男女構成分布 (令和6年3月31日現在)

年齢	性別	男性（名）		女性（名）		計（名）
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	
65歳～69歳		0	1	1	0	2
70～74歳		1	0	1	1	3
75～79歳		3	1	3	3	10
80～84歳		5	3	6	4	18
85～89歳		4	0	10	2	16
90歳以上		1	8	23	7	39
計		14	13	44	17	88

(3) 入所者の年齢構成 (令和6年3月31日現在)

年齢	性別	男性（歳）		女性（歳）		計（歳）	
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
平均年齢		81.92	88	89	88	85.45	88
最高年齢		92	99	100	98	96	98.5
最低年齢		73	69	69	76	71	72.5

(4) 入所期間 (令和6年3月31日現在)

年齢	性別	多床室		ユニット		計（名）
		男	女	男	女	
6カ月未満		1	6	1	1	9
6カ月～1年未満		1	1	3	2	7
1年～2年未満		5	7	3	7	22
2年～3年未満		0	6	3	6	15
3年～4年未満		1	9	0	1	11
4年～5年未満		2	4	2	0	8
5年～6年未満		0	3	1	0	4
6年～7年未満		2	5	0	0	7
7年～8年未満		0	1	0	1	2
8年～9年未満		0	0	0	0	0
9年～10年未満		1	1	0	0	2
10年以上		1	0	0	0	1
計		14	43	13	18	88

## (5) 入所者の要介護度構成

(令和6年3月31日現在)

介護区分		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
多床室	男性	1	2	4	5	2	0	14
	女性	0	1	7	23	13	0	44
ユニット	男性	0	0	6	6	1	0	13
	女性	0	2	7	4	4	0	17
計		1	5	24	35	20	0	88

## (6) 保険者別入所状況

(令和6年3月31日現在)

保険者	入所者数	保険者	入所者数
滑川町	43	吉見町	1
東松山市	16	ときがわ町	2
嵐山町	14	東秩父村	1
小川町	3	東京都中野区	1
さいたま市	1	東京都町田市	1
鶴ヶ島市	1	東京都北区	1

## (7) 死亡退所者の状況

死亡原因		人数
入院	肺炎(誤嚥性肺炎含む)	2
	新型コロナウイルス感染症	0
	その他疾患	3

## 2. 生きがい活動

口腔ケア体操・体操・カラオケは換気を十分に行っている状態で実施し又塗り絵や計算等個々で出来るレクリエーションも行っています。天気の良い日には施設周辺の散歩へ出かけています。

## (施設内活動)

項目	内容
計算・塗り絵	塗り絵を中心に毎日実施。季節に合わせた塗り絵を行い施設の中でも季節を感じて頂ける様にした。皆様様々な色を使い個性豊かに行った。
カラオケ	歌う事は自立神経や血圧の安定を図れると共に、口を動かされる事で顎周辺の筋肉の強化や唾液分泌にもつながり誤嚥防止に役立てました。

## (施設外活動)

項目	内容
散歩	施設周辺に神社やお寺があり、花々を見学に散歩を行いました。外出が基本出来ない為園内での散歩になりましたが大変喜ばれていました。

## 3. 行事

新型コロナウイルスの関係で外部からの受け入れを中止し、感染予防のため大勢が集まる行事を中止しました。

4月	桜の飾りつけ	折り紙やきめこみの飾りつけを行い春の訪れを表現しました。
5月	鯉のぼりの飾りつけ	鯉のぼりの飾りつけを行っています。
7月	七夕飾り	七夕飾りを作り、様々な思いを込めた短冊を飾りました。
	納涼祭	食事とお祭りの飾りつけで祭りの雰囲気づくりを行った。
9月	敬老会	祝者へ花束・プレゼントの贈呈を行い、花束に終始笑顔でした。
12月	クリスマス会	ツリーの飾りつけやプレゼントを渡し喜ばれてました。
	餅つき	飾りつけ、お供えを行った。
1月	正月飾り	凧やお餅のお供え、福笑い等を飾りお正月を迎えました。
	新年会	お正月の飾りつけ等行い、新年のお祝いを行いました。
2月	節分	鬼役をつくり、お手玉を投げて節分を行いました。
3月	散歩	日和もよくなり園外への散歩しました。

その他、その月の誕生者には写真撮影後祝福し、季節のイベントに合わせた行事食を提供した。又、手作りカードを作りお渡した

#### 4. ボランティア受入れ実績

滑川中学生ドリームプロジェクト

#### 5. 介護体験実習・施設見学受け入れ実績

新型コロナウイルス感染症の為、受入れを中止した。

※園内への受入れができない為、滑川中学ドリームプロジェクトへ参加。クッションの作成をして頂きました。

#### 6. 会議関係

会議名	内容	実施回数	構成員
リーダー会議	行事等予定の調整、施設運営に係る会議	毎月1回実施 (年12回)	施設長、事務長、各部署の責任者
ケース会議	ケアプラン作成において半年毎のプラン見直しや介護度変更に伴う会議	検討が必要な場合は随時開催	介護職員、看護職員、栄養士、介護支援専門員、理学療法士・言語聴覚士・相談員
入所判定検討委員会	特養新規入所者及び入所申込者について順位決定会議	毎月1回実施	施設長、第三者委員、看護主任、介護支援専門員、相談員、介護主任
多床室職員会議 ユニット職員会議	各部署の業務についての会議	毎月1回実施 (年12回)	介護支援専門員、介護職員、相談員

#### ・サービス担当者会議

ご利用者のサービス提供内容について、下記のとおり担当者会議を実施し、日常におけるサービス体制の向上に努めた。

(単位：人)

開催月日	参加者人数	従来型特養利用者	ユニット型特養利用者
4月 2.3.18.21日	42	2	7
5月 2.4.8.14日	63	9	0
6月 3.5.6.9.10.18日	84	7	5

7月 8.10.11.13.16日	112	11	5
8月 3.4.6.7.9.11.12.15.22.28日	105	10	5
9月 9.14.15.26日	56	7	1
10月 5.6.8.9.10.11.12.18.20日	105	10	5
11月 10.14.22.23.30日	42	4	2
12月 12.13.15.19.21日	49	6	1
1月 3.4.6.11.12.18日	56	4	4
2月 8.9.15日	35	3	2
3月 3.4.6.7.9.27日	63	4	5
計	812人	77人	42人

・ケース会議

ご入所者1名に対し、年に最低2回実施しました。内容については問題行動の改善、生活に係る問題点や処遇の具体的な見直しなどを行った。各部署職員が集まる事が感染症の関係上難しく、ケアマネジャーを中心に情報を集めて行いました。

・各委員会

○衛生委員会

新型コロナウイルス対策を中心に施設内に持ち込まないことを前提に対策を練り、手指消毒やマスク・検温等対策を行った。

○吸引・褥瘡委員会

ご利用者への吸引の実施状況報告と褥瘡ハイリスク者の報告と褥瘡処置実施者の経過報告を実施しました。

○給食会議

栄養士を中心に情報を集め随時改善を行った。

○事故対策・身体拘束廃止・虐待防止委員会

ヒヤリハットと事故の報告と対策について、身体拘束実施者と廃止についての検討しました。又虐待防止に向けた指針とマニュアルの確認を行いました。

【衛生委員会】

新型コロナウイルス感染症対策として、こまめな換気、テーブルや手すりの消毒に努め、トイレに消毒液を設置し、マスクを使用できる入居者へはマスクの着用をお願いしました。各居室に加湿器を設置し湿度を一定に保つように努めました。

5月 加湿器回収・清掃、バルサン炊き（2週間あけて2回実施）虫コロアースの散布

6月 アースノーマット設置・感染症全般の研修

10月 新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス研修（資料閲覧）、居室設置消毒の交換

11月 加湿器設置し使用開始・居室設置消毒液の交換

【吸引・褥瘡委員会】

実施頻度：1回/月（第3月曜日 15:00～）

職種：施設長、相談員、ケアマネジャー、栄養士、看護師、理学療法士、介護士

会議内容：吸引が必要な利用者様への吸引頻度や注意点の確認

① 褥瘡が発生している利用者様の状態報告、対応検討

② 褥瘡リスクがある利用者様への対応検討

<褥瘡発生件数>

24件/年（治癒：16件、治療中：5件、その他：3件）※その他は治療中に他施設へ転院

【事故対策・身体拘束廃止委員会】

実施頻度：1回/月（第2月曜日 15：00～15：45）

職種：施設長、相談員、ケアマネージャー、看護師、理学療法士、介護士

会議内容：

① 先月に挙げた事故・ヒヤリハットについての報告と対策の再検討

② 事故リスクが見込まれるご利用者の対応検討

③ 身体拘束をしているご利用者の拘束解除について検討

<従来型 事故実績>

事故：96件/年（県への報告：10件） ヒヤリハット：104件/年

事故内訳：転倒22件、転落12件、剥離30件、その他5件

<ユニット型 事故実績>

事故：45件/年（県への報告：3件） ヒヤリハット：72件/年

事故内訳：転倒17件、転落16件、剥離1件、落葉1件、その他3件

※事故の定義：利用者に何らかの実害があり処置や治療を要したもの（例外として、転倒・転落に関しては処置の有無に関わらず全て事故として扱う）

7. 施設内研修

書面にて資料を閲覧し、随時担当者が質疑応答を行いました。

月	内容	詳細
4月	認知症・処遇について	認知症の種別やそのケア方法
6月	感染症全般・新型コロナウイルス感染症	ウイルスや菌がどのような形で感染をしていくのか、又予防・対応方法について
8月	身体拘束・虐待	身体拘束禁止規程や高齢者虐待に至ってしまう経緯、通報の義務と対応
10月	感染症（新型コロナ・インフルエンザ等）の初動・感染症について・BCP総則・BCP訓練	感染症について又初動の動きの確認。 BCP総則確認と簡易陰圧装置組立て訓練・段ボールでのごみ箱の作り方など実施
1月	事故研修（誤薬・転倒等）	事故リスクについて学びました。
3月	褥瘡について	褥瘡の原因と対応、栄養面について学びました
随時	事故予知	リスク者について、又リスク資料を元に検討しました。
随時	入浴事故研修	入浴事故リスク・防止について学びました。

8. ショートステイ

定員：12名(四人室×3部屋)

	サービス実施状況				一日平均入所者数
	実人数(名)		延人数(名)		
	令和4年	令和5年	令和4年	令和5年	全体(名)
4月	20	17	243	294	9.8
5月	17	17	242	340	11.0
6月	18	18	280	334	11.1
7月	18	18	288	366	11.8
8月	8	18	167	356	11.5
9月	17	14	200	261	8.7
10月	18	17	282	317	10.2
11月	16	18	229	350	11.7
12月	16	16	279	336	10.8
1月	15	17	299	322	10.4
2月	16	16	242	300	10.3
3月	11	16	213	318	10.3

看護・機能訓練事業報告

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染法上の2類相当からインフルエンザと同様に5類へ移行しましたが、集団生活による蔓延防止と予防対策のため、発熱者に対しては直ちに医療機関へ搬送し、PCR抗体検査を行い、毎日ご利用者に対し声掛けし健康状態のチェックを致しました。介護職より、排泄、食事、睡眠、ADL(日常生活動作)、精神状態の報告を受け状態観察に努めました。年間の医療機関への受診は、20医療機関365件で、従来型特養204件、ユニット型特養が120件、ショートステイ利用者が41件でした。

機能訓練関係では、8月28日から9月13日まで従来型特養における新型コロナウイルス感染症のクラスターにより感染拡大防止のため機能訓練を中止しました。

○PCR検査:埼玉県が高齢者施設等の職員を対象としたPCR抗原検査キット無料配布事業を実施していただき、厨房職員を含む施設職員に対しPCR抗原キット検査が配布され令和5年9月10日から12月9日までと令和6年1月14日から12週間、週2回検査を実施しました。

○新型コロナウイルスワクチン接種:令和5年7月と12月にオミクロン株に対応した2価ワクチンをご利用者、職員へ嘱託医が接種した。

○インフルエンザ:ご利用者1回実施(特養は全員実施。ショートステイ利用者は希望者のみ)  
:職員1回実施(アレルギーなどの問題がない限り全職員実施)

○肺炎球菌ワクチン:高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を希望により、接種実施しております。

○ストレスチェック:職員74名のストレスチェックを行い、高ストレス者は9名であった。



## 栄養事業報告

### 1. 事業運営の概況

ご利用者の食事状況を見に行き、食事形態の確認や摂取量の確認を行いました。体重測定を定期的を実施し、体重の増減を考慮し健康状態の改善・向上に努めました。

衛生管理の徹底に努め、害虫駆除やグリストラップ清掃を外部業者に依頼するとともに腸内細菌検査を実施し感染症対策を行いました。

新型コロナウイルスへの感染対策の徹底を昨年度に引き続き、委託業者や他職種と連携しながら行いました。また、厨房機器の故障に関する修理の実施をしました。

### 2. 食事状況

季節に応じた行事食を起案し、食事を通してご利用者には四季を感じていただきました。

また、新型コロナウイルス流行のため、施設全体での行事やレクリエーションは行わず、各部署ごとに実施し感染予防に努めました。行事の催し物ができない分、食事内容やお品書きなどで食事や行事を楽しんでいただけるよう工夫しました。

#### (1) 行事食の実績

5月	八十八夜　こどもの日
6月	おやつレク(喫茶)
7月	納涼祭　七夕　土用の丑
8月	おやつレク(ソフトクリーム)
9月	敬老会
10月	ハロウィン
11月	おやつレク(焼き芋)
12月	クリスマス　年越しそば
1月	おせち　新年会　おやつレク(焼き芋)
2月	節分　バレンタイン
3月	ひなまつり　おやつレク(焼き芋)

#### (2) 選択食の実績

4月	中華丼　・　麻婆丼
5月	肉そば　・　梅とろろそば
6月	親子丼　・　穴子卵とじ丼
8月	夏野菜カレー　・　焼肉ピラフ
11月	鉄火丼　・　温玉そばろ丼

## 地域密着型通所介護事業報告

### 基本事項

地域密着型（滑川町住居者のみ利用可能）

1日定員：18名

事業内容：通所介護事業、介護予防通所介護、総合事業

送迎範囲：滑川町全域

営業日：月曜日～土曜日（ただし1月1日～1月3日までは除く）

サービス提供時間：10時～16時

### 1. 年間行事実施状況

3月より感染対策をしたうえでの花見ドライブを行いました。5月よりコロナウイルスが5類になり外食を除き通所での行事を再開し買い物、花見、レクリエーション等楽しめました。

### 2. デイサービスでの活動（趣味活動・作業・レクリエーション・運動）

項目	内容
塗り絵 漢字プリント 計算プリント 脳トレプリント 読書	景色や季節の花ぬりえ、難読漢字プリント、計算プリント、なぞなぞ、クロスワード、ナンプレ、頓智、迷路、間違い探し等脳トレプリントをご自分に合った物を選択して頂き行っております。実施後、職員が採点、評価を行う事で達成感も得られ意欲的に行っております。中々進まない方には職員と一緒に楽しみました。
趣味活動 麻雀 知恵の輪	趣味活動として、将棋・囲碁・オセロ等出来る方は職員と楽しみながら頭の運動を行った。最近では麻雀の輪が広がり時間が足りないとお昼を早く食べ機能訓練の時間ギリギリまで麻雀を楽しませております。知恵の輪やパズルも人気があり時間があると手に取り行った。
カラオケ	カラオケを楽しみに来られる方も多く機能訓練後の時間や他の方が入浴されている間にカラオケを練習され午後のカラオケの時間では練習した歌を披露し楽しめました。
レクリエーション	毎日、その日の様子や介護度に合わせ楽しめるレクリエーションを提供し、コロナ禍でのレクリエーションは接触がなく距離を保ち皆が楽しめる物を工夫し楽しんでもらった。
体操	食前に嚥下体操、昼寝後に長生き音頭体操を実施した。
個別機能訓練	体幹、柔軟体操。平行棒、階段、段差等歩行訓練、洗濯、洗い物、畑作業等プランに沿って個別に実施した。
制作活動	各月作品作り。出来る作業を分担し行い季節を感じられる様な飾りを作成、記念写真を撮りお誕生日カードに添えてプレゼント行い好評頂いた。

### 3. 会議・委員会活動

会議・委員会名	内容
事故対策委員会	各部署事故報告行い。検討が必要なケースについて話し合いを行う。通所としては離設事故が有り対応策を報告。
衛生委員会	各部署の感染症報告や今後の対策等話し合う。新型コロナウイルス5類に変更後の対応等の検討。
給食委員会	食事提供について委託業者を交え、各部署問題点の報告や要望等の話し合いを行った。
リーダー会議	各会議の報告や申し送り報告事項等。
通所会議	通所での問題、改善策について話し合い情報の共有を図る。サービスの質の向上や問題点等について話し合いを行う。今年度の会議では新型コロナウイルス感染症予防対策について、5類に変更後の対応。（中止していた外出買い物等の行事の再開、感染対策の観点から制限されていたレ

	クリエーション内容の見直し等。) 利用率の向上、維持の為に休まれない様にする対策等の検討。
ケース会議	ご利用者の状態、ケアの変更等について。又、事故防止の為、注意点等情報の共有を図る。通所職員参加。各利用者について意見交換、情報の共有を図りより良いケアを検討。利用者の入れ替わりも多く新規利用者の対応について等話し合いを行う。個別に事故リスクについての検討、対策。
行事会議	開催無し。全体での行事はなく各部署で実施している。
担当者会議	新規契約、プラン変更、更新時等に開催。担当ケアマネ、各事業所等が参加。
運営推進会議	おおむね6か月に一回開催。提供しているサービスの内容を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図る。

#### 4. 施設内研修

新型コロナウイルス感染症5類変更後、施設内での感染等を考慮しながら感染対策を実施したうえで通常の対面研修を行った。各種事故入浴事故についてはケース会議や入浴時等にリスクについて協議し対応。

月	項目
4月	認知症・処遇について
6月	感染症全・コロナウイルスについて
8月	身体拘束・虐待について
10月	感染症全般・コロナウイルスについて
1月	誤薬・転倒等の事故について
3月	褥瘡について
随時	各種事故・入浴事故について

#### 5. 総論

新型コロナウイルスについては5類に変更したことにより、感染症対策が困難な外食、法人としての全体行事を除いては再開し花見、買い物等実施し喜ばれました。高齢者施設である為マスクの着用は必要ですがレクリエーションを一つとっても今までの様な他者との交流について密回避にピリピリする様な雰囲気ではなく少し以前に戻ったことで穏やかに過ごされる雰囲気になりました。

利用実績につきましては、令和4年度利用率96.57%、平均利用者数17.4人に対して、令和5年度は、利用率99.25%、平均利用者数17.9人と向上しました。新規利用者確保、柔軟な利用変更、空き情報のアウンスを積極的に行い利用率向上に努めた結果となりました。

### 訪問介護事業報告

#### 【研修・会議等】

- 令和5年4月 ・施設内研修（認知症、処遇について）参加
- 6月 ・施設内研修（感染症、食中毒について）参加
- 7月 ・ヘルパー会議実施：口腔ケアの方法、褥瘡予防、安全運転の為の確認方法、ご利用者の近況と改善、対策について

- 8月 ・施設内研修（虐待について）参加
  - ・オンライン研修：「介護スタッフが知っておくべき」ハラスメント対策について
  - ・比企地区在宅医療・介護連携推進協議会に参加
- 9月 ・令和5年度「在宅医療関連講演会」参加：ACP普及啓発の取り組みについて
- 10月 ・施設内研修（インフル、ノロ、コロナ等予防、対策について）参加
  - ・比企地区在宅医療・介護連携推進協議会に参加
- 11月 ・ヘルパー会議実施：アルコール検知器の義務化に向けて  
介護職員の為の感染対策、訪問介護の高齢者虐待防止について  
ご利用者の近況と改善、対策について
  - ・比企地区在宅医療・介護連携推進講演会参加「認知症になってもいきいきと暮らすために」
  - ・感染対策委員会に参加
- 令和6年2月 ・施設内研修（事故防止、対策について）参加
  - ・比企地区在宅医療・介護連携推進協議会に参加
- 3月 ・施設内研修（褥瘡について）参加
  - ・利用者様へのアンケート実施

- 【その他】
- ・サービス担当者会議：17回
  - ・サービス担当者に対する照会（依頼）内容の提出：20回（日程調整が困難な為、書面にて）

【利用状況内訳】

		月	R5.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R6.1	2	3
実人数	計	369	32	32	34	31	31	30	31	30	30	29	30	29
	男	162	14	14	15	12	14	13	12	13	14	13	14	14
	女	207	18	18	19	17	19	19	18	17	16	16	16	15
延べ回数	計	3,696	316	333	301	314	342	339	329	325	308	250	278	261
	男	1,932	159	169	140	166	171	163	163	162	173	150	164	152
	女	1,764	157	164	161	148	171	176	166	163	135	100	114	109
平均利用回数	計	10.2	10.5	10.7	10.0	10.1	11.0	11.3	10.6	10.8	9.9	8.6	9.6	8.4
	男	5.3	5.3	5.5	4.7	5.4	5.5	5.4	5.3	5.4	5.6	5.2	5.7	4.9
	女	4.8	5.2	5.3	5.4	4.8	5.5	5.9	5.4	5.4	4.4	3.4	3.3	3.5
乗降介助回数	計	135	4	4	10	4	12	12	10	10	27	10	20	12
	男	78	4	4	9	4	8	9	4	4	12	4	9	7
	女	57			1		4	3	6	6	15	6	11	5

【訪問介護アンケート調査集計】 調査集計 回答総数 25件 / 配布数 30件 / 回収率 83%

アンケート回収に関しては、だいたい例年通りでした。アンケート結果については、2「ヘルパーからの言葉や態度で嫌な思いをした事がある」の項目が29%あるという結果です。支援時間内で出来る限りの支援をご利用者にとって、いい状態にしたいという心掛けが、少し過剰な支援に結びついているのではと感じ反省しております。一人ひとりの住まい、生活を考え、個性を尊重した介護を目指したいと思います。

また、利用状況では要介護4、要介護5の方の終末期の身体介護をケアマネ、訪問看護、医療、ご家族との連携をとりながら支援させて頂きました。突然の入院からの入所などが多く、波がある5年度でした。

今までのご利用者の認知度も上がり要介護の方が増え、今まで以上に気を配り、ヘルパー内での報告、連絡、

相談を欠かさず行って参りたい。

		はい		どちらとも いえない		いいえ		無回答	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1	ヘルパーは気持ちを確認しながら支援してくれる。	22	88%	3	12%	0	0%	0	0%
2	ヘルパーからの言葉や態度で嫌な思いをした事がある。	7	29%	1	4%	17	69%	0	0%
3	ヘルパーは私の話を親身になって聞いてくれる。	24	97%	1	4%	0	0%	0	0%
4	森林園のヘルパーに対して安心感がある。	25	100%	0	0%	0	0%	0	0%
5	森林園のヘルパーに自分の意見を言いにくい。	2	9%	1	4%	22	89%	0	0%
6	ヘルパーは家の物を使って、元の所に戻さないことがある。	2	9%	0	0%	23	92%	0	0%
7	ヘルパーが時間に遅れたり、予定変更を連絡しない事がある。	2	9%	1	4%	22	89%	0	0%
8	ヘルパーから立ち入った事を聞かれて、嫌な思いをした事がある。	2	9%	0	0%	23	92%	0	0%
9	ヘルパーから他の家の話を、聞いたことがある。	2	9%	0	0%	22	89%	1	4%
10	事業所は、私の家でする仕事を書いた書類（訪問介護計画書）を説明してくれた。	22	89%	0	0%	3	12%	0	0%

居宅介護支援事業所

1. 運営状況

主任介護支援専門員（1名：管理者兼務）、介護支援専門員（1名：非常勤）にて運営。

(1) 介護予防サービス計画作成数（総合事業対象者、要支援1～2）

月	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
件数	13	12	12	12	12	11	12
月	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	合計件数	
件数	11	11	11	10	9	136	

(2) 居宅介護サービス計画作成数（要介護1～5）

月	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
件数	37	38	39	38	38	38	40
月	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3	合計件数	
件数	39	39	39	39	39	463	

2. 利用状況内訳

(1) 性別、年齢別、要介護度別内訳（総合事業対象者、要支援1～2）

		総合事業対象者	要支援1	要支援2	合計
60～69歳	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
70～79歳	男	0	1	0	3
	女	2	0	0	
80～89歳	男	1	1	1	7
	女	1	1	2	
90～99歳	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
100歳以上	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
合計		4	3	3	10

(年度末時点での実年齢で集計)

(2) 性別、年齢別、要介護度別内訳（要介護1～5）

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60～69歳	男	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	1	
70～79歳	男	2	0	1	0	0	8
	女	4	1	0	0	0	
80～89歳	男	3	2	2	0	0	19
	女	6	2	2	2	0	

90～99 歳	男	0	1	0	1	0	11
	女	4	3	1	1	0	
100 歳以上	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	
合計		19	9	6	4	1	39

(年度末時点での介護認度で集計)

### 3. 研修状況

月	場所	内容
令和5年4月	森林園	認知症について
6月	森林園	ケアプランについて
	森林園 東松山市民文化センター	感染症全般と新型コロナウイルスについて ヤングケアラーについて (東松山市主催)
7月	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
8月	森林園	虐待について
	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
9月	紫雲閣	在宅医療講演会 (比企医師会主催)
	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
10月	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
	国立女性会館	訪問相談員研修 (東松山保健所主催)
	森林園 (オンライン) 森林園	医療・介護・福祉連携研修 (埼玉県主催) 感染症 BCP について
11月	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
令和6年2月	森林園	認知症患者の事故について
	居宅いづみ	ケアマネ情報交換会
3月	森林園	褥瘡について

### 4. 地域ケア会議

月	開催場所	内容
令和5年4月	滑川町役場	地域ケア推進・個別会議開催予定について
		特定検診、長寿検診について
		高齢者肺炎球菌、高齢者コロナウイルス予防接種について
5月	滑川町役場	地域ケア個別会議
6月	滑川町役場	ACP 講演会について (樺澤内科医院)
		特定検診、長寿検診について
		夏のボランティア体験プログラムについて
7月	滑川町役場	地域ケア個別会議
8月	滑川町役場	埼玉県「ACP 普及啓発講師人材バンク 登録制度事業」講演
9月	滑川町役場	地域ケア個別会議
10月	滑川町役場	滑川町「高齢者こころの相談事業」について
		紙おむつ支給事業について

		高齢者インフルエンザ予防接種について
11月	滑川町役場	地域ケア個別会議
12月	滑川町役場	緊急通報システム再設置工事について 令和6年度地域ケア会議について
令和6年1月	滑川町役場	地域ケア個別会議
2月	滑川町役場	地域ケア個別会議
3月	滑川町役場	第9期滑川町介護保険事業計画（保険料について） 介護保険法改正による介護予防支援に対する事業所指定について 紙おむつ支給申請方法の変更について

5. アンケート結果配布枚数：49枚 回収枚数：38枚 回収率：78%

(1) サービス内容や事務手続きなど、ケアマネジャーの説明はわかりやすいですか？

- ①わかりやすい（39件：95%） ②どちらでもない（0件：0%）  
③わかりにくい（0件：0%） ④無回答（2件：5%）

(2) 話し合いや会議の内容について満足されていますか？

- ①満足している（39件：95%） ②どちらでもない（0件：0%）  
③不満（0件：0%） ④無回答（2件：5%）

(3) ケアマネジャーは個人情報の保護に努めていると感じていますか？

- ①感じている（35件：85%） ②わからない（4件：10%）  
③感じていない（0件：0%） ④無回答（2件：5%）

(4) サービス内容の変更や急な出来後ことが起きた時など、ケアマネジャーは気持ちよく対応してくれていますか？

- ①そう思う（37件：90%） ②どちらでもない（2件：5%）  
③思わない（0件：0%） ④無回答（2件：5%）

(5) 訪問時間など、約束したことを守っていますか？

- ①守っている（38件：93%） ②どちらでもない（1件：2%）  
③守っていない（0件：0%） ④無回答（2件：5%）

(6) ケアプランの内容に満足していますか？

- ①満足（38件：93%） ②どちらでもない（0件：0%）  
③不満（0件：0%） ④無回答（3件：7%）

(7) ケアマネジャーは困りごとなどに対してサービスの提案やアドバイスなどをしてきていますか？

- ①してくれる（40件：98%） ②どちらでもない（1件：2%）  
③してくれない（0件：0%） ④無回答（0件：0%）

(8) ケアマネジャーを変更したいと思ったことはありますか？

- ①今のまま（41件：100%） ②どちらでもない（0件：0%）  
③変更したい（0件：0%） ④無回答（0件：0%）

(9) ご回答・ご記入いただいた方はどなたですか？

- ①ご本人（20件） ②ご家族（21件）

6. まとめ

①令和5年度の新規利用者：14件

内訳 ①病院から：0件 ②地域包括支援センターから：0件 ③本人・家族から：14件



④ 他事業所から：件)

① 令和5年度の終了者：14件

内訳 (①自立：2件 ②他事業所移行：0件 ③入所：6件 ④死亡：6件)

《目標に対して》

- ①新型コロナウイルス感染症が5類移行となったが、基本的感染対策のため訪問時間を短縮等し対応。アンケート結果では居宅介護支援内容についての満足は高い結果が得られており、ご利用者様、ご家族様と相談しながら意向に沿った支援は継続して提供できているものと考えられる。
- ②医療と介護の連携強化では、要支援、要介護にかかわらず入院時には情報提供を行っていることから連携は図れている。公正中立性の観点では、どうしても滑川町内に資源が少ないことに加え、相談時に当法人のサービスを希望される方が多く、通所系は変わらず自法人の紹介率が高くなってしまった。特定事業所集中減算計算にて滑川町へは正当な理由を提出している。
- ③初回アセスメント時に滑川町の介護保険制度のパンフレットを用いて説明を行っている。また、介護保険サービス内容見直し時などにも、十分な説明を行うように心がけた。
- ④地域ケア会議を通して、行政からの情報提供や他事業所間での連携は図れている。月1回、居宅いづみにてケアマネ情報交換会を開催し、他事業所間での近況報告や相談など行った。引き続き、地域包括支援センターや高齢介護課、他事業所間で情報共有しながら居宅介護支援業務に取り組んでいく。

### 在宅介護支援センター事業報告

滑川町全地域を対象とし、ご本人やご家族、地域の方々が安心して生活ができるよう多職種・他機関との報告・連絡・相談を密に連携をとりながら支援しました。又、24時間体制の窓口を持つ総合窓口としての機能を果たせるよう取り組みました。

令和5年度の相談件数は180件で、要介護者53件、要支援者22件、非該当105件で、訪問相談が141件、電話相談36件、その他2件でした。

#### <家族介護教室>

高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法や介護食の作り方等を知っていただき、介護力を身につけられるように支援しました。また、介護者教室に参加することで、介護に対しての不安や悩みをもつ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する役割を果たしました。埼玉県主催のケアラー支援で家族介護教室運営の事例発表を行いました。

#### <認知症サポーター・ステップアップ養成講座>

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みました。

#### <高齢者のこころの相談>

認知症サポート医による専門相談を月1回1件当たり30~60分程度の時間で実施しました。対象は、滑川町在住65歳以上の方、高齢者介護にあたっている家族になります。

#### <滑川町高齢者福祉事業検討委員会>

町内在住高齢者の福祉事業検討委員会にて、町内高齢者が何に困っていてどんな福祉事業を望んでいるのかを

発表しました。

年2回委員として検討委員会に出席し長寿ふれあい温泉入浴補助事業、滑川町移動販売、補聴器購入費助成金交付制度など、町内高齢者のための福祉制度構築に携わりました。

令和5年度ケアラー支援関係機関向け研修事業 ケアラー支援実践研修

# 滑川町家族介護教室 の実践について

在宅介護支援センター森林園  
相談員 小原輝子

## 森林園

- 平成4年(1992年):特別養護老人ホームとショートステイ、デイサービスを開設
- 平成12年(2000年):居宅介護支援事業所、訪問介護、在宅介護支援センター(滑川町からの受託事業)を開設
- 平成20年(2008年):ユニット型特養を増築

### [家族介護教室]

- 滑川町からの受託事業
- 地域包括支援センターとの協同事業
- 平成20年(2008年)から開催



## 滑川町の特徴

人口 19,728人(2023年4月1日)

\*高齢化率:23.00%

## 福祉

高齢者の入所施設は町内に4か所あり、特別養護老人ホームは森林園の1か所である。給食費の無償化や18歳までの医療費無料化など、子育て支援を行い、子育て世帯の転入や合計特殊出生率が高い為、高齢化率は低い

## 交通

東武東上線が走り、町内には2か所の駅がある。移動手段は自動車が大半であり、高齢で交通手段を持たない方はデマンド交通「ターナちゃん」を利用している

## 家族介護教室の目的

### 対象

- ①高齢者の介護で悩む家族
- ②今後介護をする可能性のある家族

### 目的

- ・ 介護保険制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法等を学んでもらい、介護力を身につけられるよう支援する
- ・ 教室に参加することで、介護に対し不安や悩みを持つ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する

## 家族介護教室の概要①

- 主催：町地域包括支援センター
- 財源：町からの委託料(講師謝金)
- 定員：10名/1回
- 参加料：無料
- 周知方法：回覧(右図)

### 回覧

町民各位

令和5年6月1日

滑川町長 大塚 謙一(公印省略)



### 家族介護教室のお知らせ

高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法等を学んでもらい、介護力を身に磨かれるよう支援する。また、教室に参加することで、介護に対し不安や悩みを持つ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する。

対象者..... 現在高齢者の介護をしている方、介護をする可能性のある方、

介護に興味のある方など

日程・内容..... 裏面をご参照ください

\* 1回のみでも、全7回でもお好きな教室に参加可能です！

費用..... 無料

定員..... 10名

申込み..... **6月12日(月)から電話で受付をします。**

※受付時間は平日の午前9時～午後5時です。  
受付は定員になり次第終了させていただきます。



滑川町地域包括支援センター ☎56-2132

## 家族介護教室の概要②

- 回数：全7回(令和5年度)
- \*全日でも1回のみでも申し込みが可能



### 令和5年度 家族介護教室 (全7回)

時間：午前 10 時～午前 11 時 30 分 (第1回・第7回のみ午後開催)

実施日	内容	会場
第1回 7月6日(木) 14時～15時30分	「困った時に頼れる制度 介護保険」 講師：在宅介護支援センター相談員	コミュニティセンター
第2回 8月10日(木)	「施設見学」 いつみケアセンター	いつみケアセンター
第3回 9月7日(木)	「認知症について 基礎知識編」 講師：在宅介護支援センター相談員	コミュニティセンター
第4回 10月12日(木)	「介護者の集い」 交流会あり 講師：認知症のひとと家族の会 世話人	コミュニティセンター
第5回 11月16日(木)	「認知症について」 ～音楽の不思議な力～ 講師：音楽療法士 山岸 康氏	コミュニティセンター
第6回 12月7日(木)	「ハワイのオイルケア」 ～ひさから下のむくみ対策～ 講師：ハワイアンロミロミ noniko 羽田 雪子 氏	保健センター 2階
第7回 令和6年 1月11日(木) 14時～15時30分	「在宅における感染症対策」 講師：小川赤十字病院訪問看護ステーション 村山 泰津子 氏	コミュニティセンター

※日程、内容は予定であり、講師や会場の都合により変更になる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

☆に不明な点・ご質問など、お気軽にお電話ください  
滑川町地域包括支援センター ☎56-2132



## 集客の課題

### 開催当初：2008年～

- ・ 介護保険や在宅介護についての知識が町民に浸透していなかった
- ・ 参加者は、定員いっぱいだった

### 近年

- ・ 毎年開催した効果が出て、住民の中に介護の知識が増えてきた
- ・ 参加者が少なくなってきたことが近年の課題になった



## 集客のための工夫

①「面白そう」「行ってみたい」と思ってもらえるテーマの工夫

②タイトルを工夫

「身体介護について」から「初めての身体介護～コツをつかんで楽々介護」などへ

③チラシを地域包括支援センターの窓口に掲示

介護の相談に来た人に一番目につく場所。近隣地域を参考に

④地域ケア会議でケアマネジャーさんが集まったときに紹介

介護で悩んでいる人と向き合っているケアマネジャーさんから、教室への参加を促してもらうように依頼

## テーマの設定①

- ・在宅介護支援センターの相談員として、日常、課題に感じていることをテーマに取り上げる

最近、下肢のむくみに悩んでいる方が多いので、今年度は家庭でもできるむくみ対策をテーマの1つにした

「ハウイのオイルケア」

～ひざから下のむくみ対策～

講師：ハウイアンロミロミ noriko

岡田 宣子 氏

- ・参加者のニーズを参考にする

昨年、家族の排せ介助をする男性の参加者がいた際に、町内には異性の家族を介護する男性介護者もつといるはずだと気づいた。

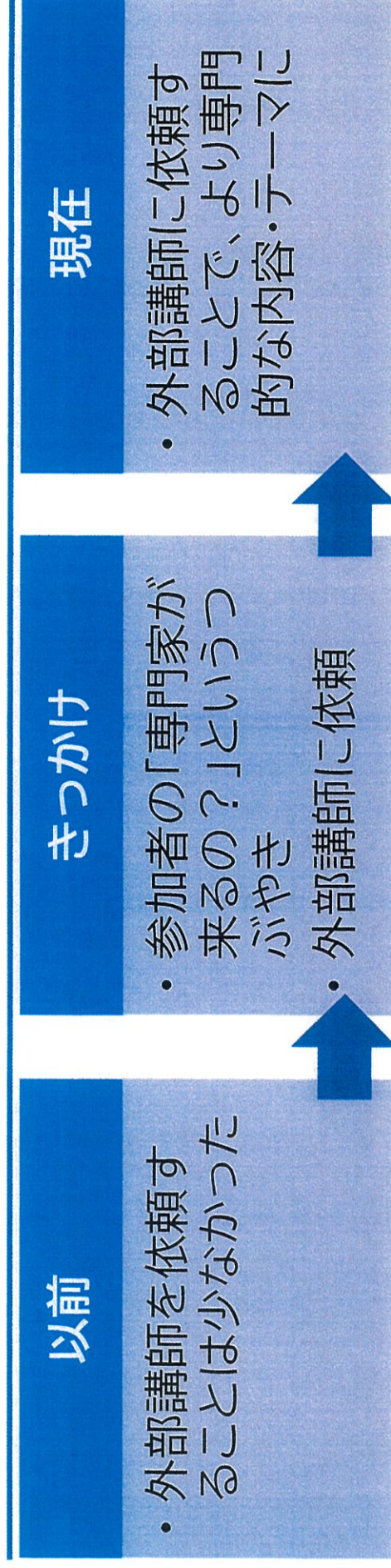
今年、「男性のための」とはできなかつたが、「介護者の集い※交流会あり」とした

「介護者の集い」 ※交流会あり

講師：認知症の人と家族の会 世話人

- ・近隣市町村や他県の家族介護教室の内容を参考にする

## テーマの設定② 外部講師



### これまでのつながりを活用する

集いに参加して面識のあった「認知症のひとと家族の会」の世話人の方に依頼

### 相談員として参加した研修を活用する

埼玉県のスキルアップ研修で、内容が家族介護教室にも適していると判断した場合は、その講師に依頼

## 開催時間の工夫

### ～令和3年度

- ・午後2時～3時半に開催
- ・うとうととしてしまう人もいた
- ・開催時間にも問題があると気づいた

### 令和4年度～

- ・午前10時～11時半に変更
- ・集中力を保ちながら参加する人が多くなった

## 家族介護教室のケアラー支援効果(例)

行政サービスに  
つながる

- 町の福祉制度を紹介する  
→参加者が、寝たきりの人を介護する人への支援があることを知り、役場に相談する  
→「ねたきり老人等手当」が支給される

介護知識が  
深まる

- 認知症介護でのユマニティードをテーマに取り上げる  
→参加者から、普段の介護を振り返るきっかけになった、対応の仕方がわかったと言われた

孤立防止に  
つながる

- 今年7月の教室後  
→参加者が、地域包括支援センターの職員や在宅介護支援センターの相談員に介護相談をする  
→介護者の孤立を防止する

## 担当者としての思い

### 思い

住民が介護仲間や行政とつながりを感じて、明るい気持ちで介護に向き合うことができるようにとの思いで臨んでいる

### 心がけ

可能な範囲で、さまざまな研修に参加して企画のヒントを得る

新聞の折り込みチラシなどからもヒントを得るように意識する